

# 視聴覚教育

NO. 489

発行日

R06.06.07

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる！？情報Ⅰ「情報Ⅰ」

2022年度より高校で必修となった科目。コンピュータの基本的な概念やネットワークの仕組み、プログラミングなどの基礎知識を学ぶ。2025年度には大学入試共通テストに「情報」科目が追加される。

## Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

### 令和六年度学習情報部方針

#### 研究主題

デジタル・シティズンシップを高め、Society 5.0を伸びやかに生きる子供の育成  
 真の「学校DX」を通して

#### 研究の重点

- ①【各教科・領域の授業で横断的に進めるデジタル・シティズンシップの育成】  
 ・ICTの効果的な活用による、情報活用能力の育成に関する研究  
 ・ICTの効果的な活用による、各教科・領域の学びを深める研究
- ②【教師のICT活用指導力の向上と、効率的な校務の実現】  
 ・教師のICT活用指導力の向上と、ICT活用による効率的な校務の実現

#### 各部会の主な活動

##### 〔広報部会〕

- ・月報「視聴覚教育」など視聴覚ライブラリー発行物の編集協力
- ・学校・家庭での情報モラルの啓発
- ・各種調査の実施と調査結果や分析の広報

##### 〔授業研究部会〕

- ・一人一台タブレット端末の活用による「誰一人取り残さない教育」の実現に向けた実践と報告
- ・情報モラル指導や情報活用能力育成推進のための研究

- ・視聴覚ライブラリーの教材・機材の効果的な活用方法の研究

##### 〔研修部会〕

- ・教師のICT活用指導力向上に向けた研修の計画・実施
- ・教育活動や校務における有効なICT利活用方法の研究と提案

## アナログとデジタルの選択

福岡中学校 校長 森 竜師

普段は手に取ることにないアルバムを、本棚の奥から取り出して開いてみる。そこには、母と二人で並び、ぎこちない笑顔で写る、小学生の自分がいる。

半世紀も前のこと。銀塩カメラ OLYMPUS-35は、私の父の自慢のカメラだった。決して裕福ではなかった生活の中、白黒フィルムは一コマも無駄にできない。光の量を調節しながら構図を決める父に付き合われ、顔が固まったことを思い出す。時間をかけて、やつとのことで押されたシャッターボタン。その時、その瞬間の景色が刻まれた一枚のアナログの写真は、今もアルバムの中に、唯一無二の父の「作品」となっていて残されている。

さて、デジタルカメラの普及と進化によって、「写真」は「画像」へとシフトし、その概念は大きく変わってしまった。容量の許す限り何枚でも撮影できるデジカメには、シャッターボタンを押す時の緊張感はない。構図が多少曖昧でも、撮影後に都合よくトリミングをすれば済む。色合いやコントラストの修正はもろろんのこと、

最近では、邪魔なものを消したり、必要なものを付け足したりすることさえも簡単にできるようになった。何度も複製して、加工すればするほど、画像は自分の目で見た実際の景色ではなく、こう見えてほしいと願う、現実が捻じ曲げられた「ART」となっていく。

アナログな撮影技術で瞬間を切り取る「作品」と、デジタル加工技術で理想の表現を生み出す「ART」。この二つには、どちらにも目的に応じた価値がある。アナログとデジタルは、それぞれの特性を生かしてこそ、効果的に役割を果たすことができるのだ。

日々の授業に目を向けてみよう。今、子供たちの手元には、学習ノートとタブレットPC。そして、私たち教師には、板書と電子黒板がある。ノートに何を書かせるか。スクリーンタクトには何を入力させるか。板書に何を残し、電子黒板には何を提示するか。アナログとデジタルの選択は、意図的に仕組まれたものでなくてはならない。

半世紀を過ぎてても、アルバムを手にとれば、いつでも見られる「写真」とともに、よみがえる父の思い出。メディアに保存された「画像」も、半世紀後に再現できることを願いたい。

## 令和六年度 学習情報部組織Ⅱ

### 部長

森 竜師 (福岡中)  
塚谷 保 (小豆坂小)  
内田 雅之 (形埜小)

### 教育委員会担当

村田 貴志 (教育政策課 G I G A スクール戦略係長)

### 視聴覚ライブラリー

杉坂 和俊 (所長補佐)

### 指導員

太田 尚志 (竜海中) 鈴木 広樹 (矢東小)

### 世話係

服部 将也 (豊富小) 岩川 皓司 (竜南中)

### 各都会世話係

#### 〔広報部会〕

岩川 皓司 (竜南中) 鈴木奈穂子 (新香山中)  
里見 涼多 (東海中) 森 綾子 (六ツ美中)  
米澤 和志 (大門小)

#### 〔授業研究部会〕

水野 利明 (矢作中) 島田 豪 (広幡小)

#### 〔研修部会〕

服部 将也 (豊富小) 山本 悠司 (矢北小)  
杉山 康子 (常磐小) 長瀬 太一 (大樹寺小)  
忠内 亮太 (岡崎小) 保田 晴香 (本宿小)  
酒井 雄一 (甲山中)

## 各種大会 研究会の案内

### 《研究会》

- ・おかざきッズ プログラミング・フェスタ2024
- ・8月7日(水) 総合学習センター
- ・三教研ICT活用研究会
- ・8月2日(金) 蒲郡市民会館
- ・県放送教育特別研究会
- ・8月21日(水) ウィンクあいち

### 《研修会》

- ・授業力・教師力アップセミナー

【基礎編】 7月23日(火)

【専門編】 7月26日(金)

### 《研究論文》

- ・学習情報部自主研修会「TAV」(随時)
- ・ちゅうでん教育振興助成(6月14日(木) 締切)
- ・パナソニック教育財団実践研究助成

(例年1月中旬締切)

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

### 《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・ICT夢コンテスト など

### 《児童・生徒のコンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・キューブ活用コンテスト
- ・パナソニックKWN日本コンテスト など

## ライブラリーだよ

### 所長

田中 典子

### 所長補佐

杉坂 和俊

### 職員

鳥居 貴浩

山本 やよい

萩原 真奈美

白木 千春

視聴覚ライブラリーは令和6年度で開所70年を迎えます。皆様の協力でここまで来ることができました。感謝申し上げます。  
令和6年度初回号では視聴覚ライブラリーの視聴覚・情報教育に関する主な支援内容を紹介します。

### ●情報モラル出前講座

視聴覚ライブラリーは児童生徒、保護者対象の「情報モラル出前講座」を随時行っています。内容はSNSやスマホ利用に関する情報提供や注意喚起などです。実施を希望する時は右記載の連絡先にお問い合わせください。

### ●配信・Web会議支援

教職員の業務改善や働き方改革の一環としてTeams配信などが行われるようになりました。そうした場面で必要となるケーブルやビデオカメラの貸出を行っています。

### ●教材の貸出

視聴覚ライブラリーは貸出用教材(デジタルコンテンツ含む)を保有しています。検索は、各校にある教材目録か視聴覚ライブラリーHPを御利用ください。巡回郵便での貸出・返却が可能です。



連絡先 岡崎市  
視聴覚ライブラリー  
23-6789